

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市富沢児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 36,530人 (前年度比 112.8%) 平成29年度 32,396人 平成28年度 25,646人 平成27年度 24,928人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 46,439千円 ( 39,429千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
		《収入》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域運営懇談会、児童館利用者座談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。  ( )は前年度決算額

### 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、生活の節目や季節の行事として、児童クラブ入会式や、ボランティアの方を招待しての感謝会、夏・冬期の宿泊キャンプ、月1回の野外活動などを実施している。保護者懇談会の際に親子交流会を実施するほか、クラブ通信を年7回発行し、育成支援や子どもの様子について適切に情報を共有することで家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。また、地域の中学・高校にチラシを掲示するなど広報に努め、ボランティアの育成や日常利用等につなげている。	19/19

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》	
<p>2018年度は、「つながる・みつかる・よくなっていく」をスローガンに児童館運営を行った。富沢西部の開発に伴って世帯数が大幅に増加し、利用者及び児童クラブ運営にも大きな変化のある一年であった。</p> <p>&lt;児童健全育成&gt;                      中高生の利用が定着化する中、ボランティアグループ「トミザワイレブン」は高学年・中学生が登録し、児童クラブ児童と遊んでくれたり、野外活動では低学年をまとめたりする様子もあり、地域の頼れる存在として活躍している。</p> <p>&lt;子育て家庭支援&gt;                      0歳～1歳親子の来館者数が増加した。「赤ちゃんと遊べる場所が欲しい」という利用者の声に応え、今年度より「BABYちゃお」等、0歳児プログラムを毎週実施した。初めての子育てで不安な気持ちを利用者同士で話し合える場となった。少人数子育て相談「ふらっとDAY」では、近隣産婦人科・保育士・栄養士等による子育て相談などを行い、産後の心と体について考える貴重な時間となった。</p> <p>&lt;地域交流推進&gt;                      富沢市民センターや近隣施設との共催で「ほっとinとみざわ」を行った。他法人との情報交換は、地域の現状を確認し合える貴重な場となった。富沢地域包括支援センターとは「認知症サポーター養成講座」を行い、職員も一緒に劇をする等、子どもたちに親しみやすい内容になった。児童の多くが地域の中で様々な世代の方と生きていく大切さを感じ取っていた。</p> <p>&lt;児童クラブ&gt;                      富沢地域の人口が急増したため、入会の申込みが後を絶たず、半年間待機児童を出す結果となった。そのため、放課後子ども教室「とみざわいわいクラブ」と連携し、放課後等の生活を安心して送れるような支援の方法を考え合い、今年度から同教室と児童クラブとの同時登録が実現している。</p> <p>これからも地域の児童館として、地域の方が「富沢に引っ越してきてよかった。どんなときも守られている。」と、安心して子育てができることを目標にしていきたい。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>放課後児童クラブの登録児童数が多い地域ではあるが、児童館と児童クラブのそれぞれの活動が充実するよう運営に取り組んでいる。子育て家庭支援では、家庭健康課や子育て支援クラブ等と連携し、対象や参加方法に配慮しながら多様なプログラムを設け、子育て世帯の交流や育児情報の提供、相談の場の提供等に努めている。土曜日に乳幼児親子行事を実施するとともに、新たに地域ニーズに応じて0歳児親子の遊び場の充実を図るなどの取り組みによって、年間を通して多くの乳幼児親子に利用されている。</p> <p>小学生向けに月例で行事を実施するほか、子どもが参加しやすい夏季休業中に水遊び、調理、製作活動などを実施し、子どもの活動を広げている。継続した取組みから定着がみられてきた小学生高学年・中学生対象の登録制活動では、野外活動やボランティア活動等の主体的な取組みを支援し、町内会敬老会での出し物や河川清掃活動等を行っている。活動の様子については野外活動通信、ボランティア通信を毎月発行し、丁寧な情報提供を行っている。</p> <p>学校、子ども会、PTA、放課後子ども教室、町内会、主任児童委員、ボランティア等の子どもに関わる組織・団体と情報交換や交流を図り、児童館の持つ機能を発揮しながら、地域全体で子どもと子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでおり、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室